

被災地に学べ・学ぶ

～東日本大震災、阪神淡路大震災の経験から～

岡田 俊一

NEW EDUCATION EXPO 2015

東京会場 【防災教育】6月6日(土)15:40～17:20

1. 阪神淡路大震災
2. 災害時の記録
3. 学校で起きたこと
4. 震災時に学校はどうあるべきか
5. 冊子の目次
6. メディアの活用
7. 人と防災未来センター
8. 震災モニュメント
9. 手作り市民新聞 “神戸ハートだより”に参加
10. 阪神淡路大震災の概要

阪神淡路大震災

- 都市直下型地震
- 密集した都市での被害

災害時の記録

- 阪神淡路大震災と学校の周辺

震災直後から記録したメモのまとめ
(別途配布資料)

学校で起きたこと

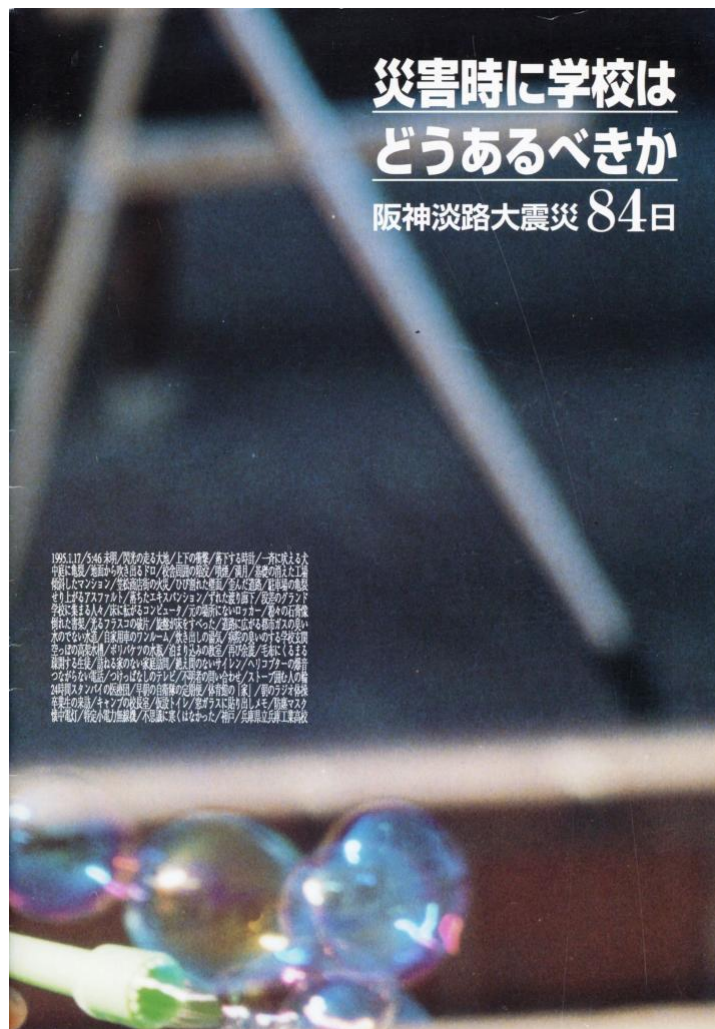
- 勤務地が1500名の方の避難所に
- 被災直後の校内記録ビデオ



震災時に学校はどうあるべきか

阪神淡路大震災84日

- 勤務校の記録を冊子化
発行日は1996年1月17日
- 編集方針
同じ状況で役立つ資料集を作る
学校再開までの時系列的な記録
翌年度の始業式が震災後84日目



冊子の目次

発刊にあたって

1 地震発生時の学校は

- ・直後の状況と対応
- ・生徒が学校管理下にある時

2 震災と学校

- 1) 震災後の経過
- 2) 学校再開に向けて
- 3) 学校の動き

3 震災と私

4 震災を考える

- 1) 生徒への震災の影響調査
- 2) 考察 震災と地盤
- 3) 地盤の被害状況

あとがきにかえて

メディアの活用

- 震災とパソコン通信
- IVN(インターネットボランティアネットワーク)への組織化
- Teens Networkの高校生達
- 最も援助の必要場所の情報が得られない

人と防災未来センター

- 資料保存と地震の疑似体験

<http://www.dri.ne.jp/>

- 小中学校の防災教育のモデルコースも用意されています。

震災モニュメント

- 神戸港震災
メモリアルパーク



- 東遊園地
慰霊と復興のモニュメント



手作り市民新聞 “神戸ハートだより”に参加

住民から市民へ

- 2か月に1度、各家庭へ配布
- 発行期間：平成16年11月～17年11月
(隔月発行、全7回)
- 紙面：タブロイド版8面(8面のみ地域
版3版切り替え)
- 発行部数：60万部(市内各家庭配布、
区役所等据置)



阪神淡路大震災の概要

- 1995年(平成7年)1月17日5時46分52秒
- 淡路島北部沖の明石海峡を震源として、Mj7.3の兵庫県南部地震が発生。
- 死者：6,434名、行方不明者：3名、負傷者：43,792名
- 兵庫県内の死者のうち、災害関連死による死者は919名
避難人数(ピーク時)：316,678人
- 住家被害：全壊104,906棟、半壊144,274棟(約46万世帯)
- 火災被害：全焼7,036棟、焼損棟数7,574棟、
罹災世帯8,969世帯
- 被害総額：約10兆円規模

引用先：阪神・淡路大震災 - Wikipedia